DENON

ダイレクトドライブ
マニュアル ターンテーブルシステム

DP-1300MKⅡ

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

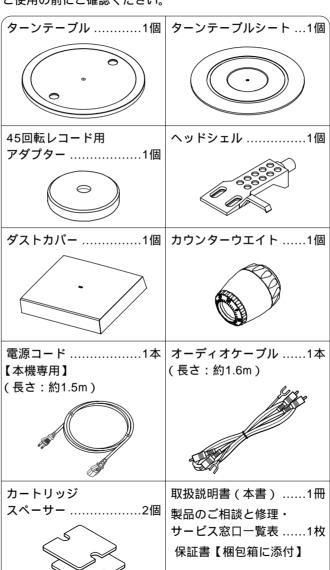
- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

ターンテーブル …………1個	ターンテーブルシート …1個
45回転レコード用 アダプター ………………1個	ヘッドシェル ……………1個
ダストカバー ……………1個	カウンターウエイト ……1個
電源コード ………………1本 【本機専用】 （長さ：約1.5m）	オーディオケーブル ……1本 （長さ：約1.6m）
カートリッジ スペーサー ………………2個	取扱説明書（本書） ……1冊 製品のご相談と修理・ サービス窓口一覧表 ……1枚 保証書【梱包箱に添付】

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ **注意**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

❏ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

❏ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

❏ 安全上お守りいただきたいこと

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コード以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

《ご使用になる前に》

注意 つづき

❑ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

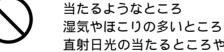
機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

❑ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

❑ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

手や指などを挟まない

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

ダストカバーを閉じるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

ダストカバーの上にものをのせない

ダストカバーの上にものを置かないでください。ダストカバーの開閉のときにものが落下して、破損またはケガの原因となることがあります。

❑ 使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

❑ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

取り扱い上のご注意

お手入れについて

◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

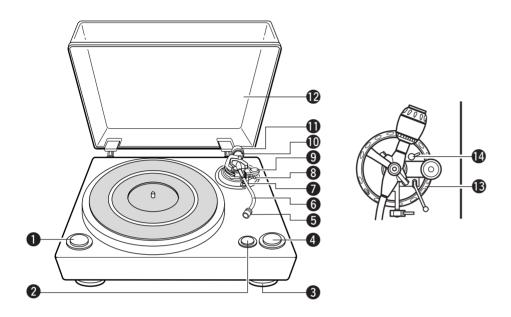
外観仕上げについて

本機のキャビネットの表面には天然木材から作られた部材を使用しています。そのために色や柄は自然のままであり、他にひとつとして同じ色柄のものはありません。塗装や最終仕上げでは当社の厳しい品質基準で管理しておりますので、ご安心してご使用ください。

注油についてのご注意

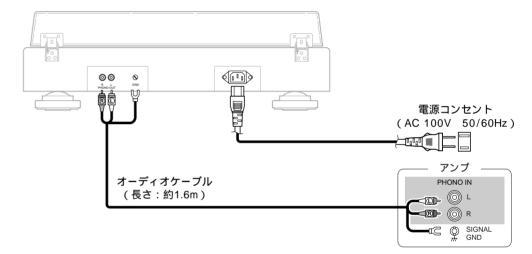
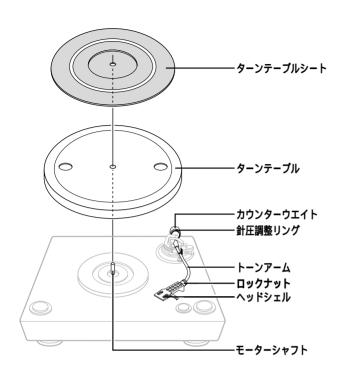
本機のモータは、注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。

各部の名前について

各部のはたらきなど、詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

❶ 電源スイッチ（■OFF ▬ON）……(9)
❷ スピード切り替えボタン ……………(9)
❸ インシュレーター ……………………(8)
❹ スタート/ストップボタン（START/STOP）……………………(9)
❺ ロックナット …………………………(7)
❻ トーンアーム ……………………(7〜9)
❼ アームレスト ……………………(8、9)
❽ リフターレバー ………………………(9)
❾ アンチスケーティングつまみ …(8、9)
❿ 針圧調整リング …………………(7、9)
⓫ カウンターウエイト ……………(7〜9)
⓬ ダストカバー …………………………(7)
⓭ アーム高さ調整リング ………………(8)
⓮ アーム高さ固定つまみ ………………(8)

接続のしかた

ご注意

- 本機を接続する機器の電源を切ってください。本機の電源プラグはすべての接続が終わるまでは、コンセントに差し込まないでください。
- すべての接続が正しいことを確認してから、本機の電源プラグをアンプのACアウトレット、または家庭用電源コンセントに接続してください。

組み立てかた

組み立てが完了するまで、電源コードを接続しないでください。

ターンテーブルを取り付ける

1 **ターンテーブル を モーターシャフト に差し込む。**

※ **ターンテーブル** 裏面のマグネットリングに傷を付けないようにご注意ください。

2 **ターンテーブルシート を装着する。**

カウンターウエイトを取り付ける

トーンアーム の後部の軸に カウンターウエイト を挿入し、ねじ込む。

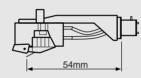
※ **針圧調整リング** を前面に向けて取り付けてください。

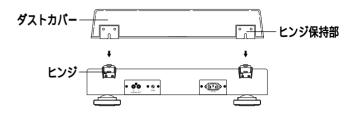
カートリッジを取り付ける

カートリッジは、別売りです。

1 **カートリッジを ヘッドシェル に取り付ける。**

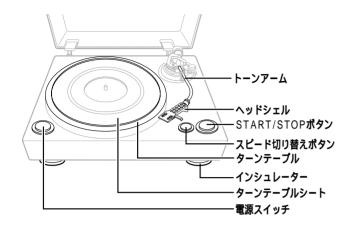
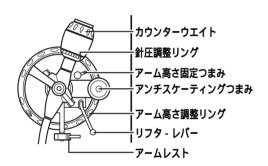
※ **ヘッドシェル** 部のリード線は色分けされていますので、カートリッジの表示または取扱説明書を参照して、間違いのないように接続してください。

※ 下図のように針先が **ヘッドシェル** 取り付け端面（ゴムワッシャー部）より54mmの位置に針先がくるように取り付けると所定のオーバーハングが得られます。

2 **ヘッドシェル を トーンアーム に差し込み、ロックナット で固定する。**

ダストカバーを取り付ける

ヒンジ に ダストカバー の ヒンジ保持部 を装着する。

※ 矢印の方向に十分押し込んでください。

※ **ダストカバー** を取り外す場合は、**ダストカバー** を全開にしてから、矢印の反対方向に引き抜いてください。

- **ダストカバー** の取り付けや取り外しは、**ヒンジ保持部** の近くを持っておこなってください。

調整のしかた

調整をおこなうときは、電源を切ってください。

インシュレーターの高さを調整する

インシュレーター を回して、ターンテーブル 面が平行になるようにそれぞれの高さを調整する。

※ **インシュレーター** を右に回すと低くなり、左に回すと高くなります。

トーンアームの高さを調整する

- レコード盤上に針先を置き、レコード面と **トーンアーム** が平行になっているか確認をしてください。
- 平行になっていない場合は、 **トーンアーム** の高さを調整してください。

1 **トーンアーム を アームレスト に戻す。**

2 **アーム高さ固定つまみ を反時計方向に動かして、固定を外す。**

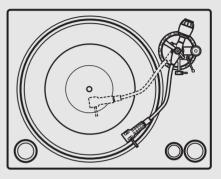
3 **アーム高さ調整リング を回転させて、レコード面と トーンアーム が平行になるようにアームの高さを調整する。**

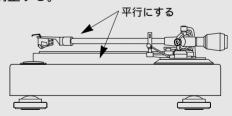
※ 調整後は、**アーム高さ固定つまみ** を時計方向に動かして、しっかりと締め付けてください。

- カートリッジによっては、**トーンアーム** の高さを調整してもレコード面と **トーンアーム** が平行にならない場合があります。このような場合は、付属のカートリッジスペーサーを **ヘッドシェル** とカートリッジの間に挟んで、レコード面と **トーンアーム** が平行になるように調整してください。

針圧・アンチスケーティングを調整する

1 **アンチスケーティングつまみ の目盛りを “ 0 ” に合わせる。**

2 **リフターレバー を下げて、トーンアーム を ターンテーブル の上まで移動させる。**

※ 針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外してください。

3 **カウンターウエイト を前後させ、手を離したときに トーンアーム と ターンテーブル 面を平行になるように調整する。**

※ 質量の重いカートリッジをご使用になる場合は、別売りの重量級カートリッジ用ウエイト「ACD-45-N」をご指定ください。

4 **トーンアーム を アームレスト に戻す。**

5 **カウンターウエイト を動かさないように指で支えながら 針圧調整リング を回し、“ 0 ” 表示を トーンアーム 後部の軸の黒い中心線に合わせる。**

6 **カウンターウエイト を矢印Aの方向に回し、カートリッジ の適正針圧値に合わせる。**

※ カートリッジの適正針圧値は、ご使用になるカートリッジの取扱説明書をご覧ください。

7 **アンチスケーティングつまみ を回し、カートリッジの針圧と同じ数値に合わせる。**
針圧3.0g以上のカートリッジをご使用の場合は、“ 3 ” に合わせてください。
- 適正なアンチスケーティング量が得られます。

設定基準ポイント

ご注意

針先を **ターンテーブルシート** などで傷つけないように十分注意してください。

操作のしかた

電源を入れる

電源スイッチ を “ ▁ON ” にする。
- 電源が入ると、**スピード切り替えボタン** が橙色に点灯します。

- 長時間使用しないときは、必ず電源コードを抜いてください。

再生する

1 **レコードを ターンテーブル の上に載せる。**

※ EPレコード（ドーナツ盤）を再生するときは、付属の45回転アダプターを使用してください。

2 **スピード切り替えボタン で、レコードの再生スピードを合わせる。**

※ 45回転レコード：
『45』に合わせます。ボタンが緑色に点灯します。
※ 33-1/3回転レコード：
『33』に合わせます。ボタンが橙色に点灯します。

3 **START/STOPボタン を押す。**
- **ターンテーブル** が回転をはじめます。

4 **リフターレバー を上げて ヘッドシェル の指かけを持ち、トーンアーム を再生したい曲の開始位置まで移動させる。**

5 **リフターレバー を下げる。**
- **トーンアーム** がゆっくりと降下し、針先がレコード盤におりて再生をはじめます。

ご注意

- レコードに傷をつけないようご注意ください。
- 再生中は、次の点にご注意ください。
  - ・**トーンアーム** や **ターンテーブル** に触れない。
  - ・電源を切らない。
  - ・本機に振動や衝撃を与えない。
- レコードを交換するときは、**ターンテーブル** が止まってからおこなってください。

再生を終了する／再生を途中で止める

1 **リフターレバー を静かに上げる。**
- **トーンアーム** が上昇し、針先がレコード盤から離れます。

2 **ヘッドシェル の指かけを持ち、トーンアーム を アームレスト に戻す。**

3 **トーンアーム を アームレスト に固定する。**

4 **START/STOPボタン を押す。**
- **ターンテーブル** の回転が止まります。

その他について

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
針先がレコード盤におりない。	● トーンアームの高さが正しく調整されていない。	● 正しく調整してください。	8
	● 針圧が正しく調整されていない。	● 正しく調整してください。	8、9
	● アームの平行バランスが調整されていない。	● 正しく調整してください。	8
音が出ない。	● カートリッジとヘッドシェルが正しく接続されていない。	● 接続を確認してください。	6
	● オーディオケーブルが正しくアンプに接続されていない。	● 接続を確認してください。	6
	● アンプのつまみ類の調節や切り替えが正しく設定されていない。	● アンプの設定を確認してください。	―
“ブーン”というハム音が出る。	● オーディオケーブルのアース線がアンプに接続されていない。	● 接続を確認してください。	6
	● オーディオケーブルのプラグが正しくアンプに接続されていない。	● 接続を確認してください。	6
	● ヘッドシェルがロックナットでしっかり固定されていない。	● 取り付けを確認してください。	7
音飛びを起こす。スクラッチノイズが生じる。歪んだ音が出る。	● 針圧が適性針圧になっていない。	● 正しく調整してください。	8、9
	● レコード盤が反ったり、傷が付いたりしている。	● レコード盤を確認してください。	―
	● 針またはレコードが汚れている。	● 汚れを取ってください。	―
	● 針が磨耗している。	● カートリッジまたは針を交換してください。	5
アームが途中で進まない。	● アームが何かに当たっている。	● アームを確認してください。	―
	● レコード盤に傷が付いている。	● レコード盤を確認してください。	―
音が小さい。または音が大きい。	● アンプのカートリッジ設定（MC/MM）が正しく設定されていない。	● アンプの設定を確認してください。	―

保証とサービスについて

1. この商品には保証書が添付されております。
   保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
   万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
   但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
   詳しくは、保証書をご覧ください。
3. 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
6. この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
   詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❑ ターンテーブル部

駆動方式：	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数：	33-1/3rpm、45rpm
ワウ・フラッター：	0.1%以下　WRMS
起動時間：	0.3秒以内で規定回転（33rpm時）
ターンテーブル：	アルミダイカスト　直径：331mm
モーター：	ダイレクトドライブモーター
スピード制御方式：	クォーツ制御
負荷特性：	針圧80gで0%
回転数偏差：	±0.003%以内

❑ トーンアーム部

アーム形式：	スタティックバランス　S字型パイプアーム
アーム有効長：	244mm
オーバーハング：	14mm
トラッキングエラー：	3°以内
アーム高さ調整範囲：	約6mm
針圧可変範囲：	0〜4.0g 1目盛り　0.25g
適合カートリッジ自重：	4〜10g
ヘッドシェル質量：	10g（98mN）（ネジ、ナットを含む）

❑ 総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	10W （電気用品安全法による）
最大外形寸法：	ダストカバーを閉じたとき： 490（幅）×178（高さ）×400（奥行き）mm（突起物を含む） ダストカバーを開いたとき： 490（幅）×480（高さ）×460（奥行き）mm（突起物を含む）
質量：	14.5kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマーマーケティング

本　　社　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 4585 209